

月刊

GPP



Vol.77

令和4年5月号

株式会社  
グロースパートナーズ

## ナンチャツテ脱炭技術

先月はあっという間に過ぎて、こちらへの寄稿を失念してしまいました。すみません。

RRCSのメンバーで形成されたコンソーシアムが、NEDOのグリーンイノベーション基金事業に採択されたのは既に何度も書かせて頂いている。

採択されたもう1つの鹿島／竹中コンソーシアムと、我々のコンソーシアムは、なぜかメディアの取り上げ方が細く、他の大手ゼネコンの、しかもナンチャツテ脱炭素技術が多く露出している。ゼネコンとメディアの不都合な関係があるのかも知れないが、それはさておき、なんて言ってもナンチャツテ脱炭素なのがどうにも痛い。

メディアにリリースする方もする方だが、その中身を精査せずにナンチャツテ技術をさも凄そうに報道しているメディアにも大いに問題ありだといつも思う。しかも天下の日●経△新聞だ。

下手すれば株価にだって影響が出かねない。また、もし英語版に出ていたら、ナンチャツテだから世界の笑い者にもなってしまうかも知れない分けた。

現在RRCSでは幾つかのメディアの方々とも非常に懇意にさせて頂いている。それはナアナな関係ではなく、勿論、広告費が生み出す上下関係でもない。「この指、止まれ」で集まってきてくれた方々だ。勿論、報道してくれることは密かに（でもないが・・・）期待しているが、記事にすることを焦ってはいない。むしろ、このGIだったり大阪万博だったり、そもそもの残コン問題は、一定の長いスパンで取材して貰って、じっくりと記事にして頂きたいと思っている。

チャホヤされる関係ではなく、発信者とメディアという対等な関係でありたいと思う。

溜めて、溜めて、彼らがどんな記事を書くのか、楽しみでもある。

藤井 成厚

# ■セルドロン中間処理業社で採用！？

今まで産廃業者や中間処理業者からの問い合わせといえば、「生コンクリート」か「下水汚泥」でしたが、それ以外の業界でも使えそうということがわかってきました。

その理由は、セルドロンは「**物理的に水分を吸水**」するということです。化学反応を伴わず流動性を低下させたい場合に、いろいろな状況で活用できます。

他業界でも流動性が高くて、作業効率が悪い、処理しにくい、費用が高いなどの理由がありましたら、セルドロンを混合することお試しください。

油、洗浄水、動物糞尿、インク、混合液体、汚物処理、その他いろいろお試しください。

## ■ダム浚渫の問い合わせ

ダムの浚渫問合せがいくつか入ってきております。  
たまたま浚渫を計画する時期で、問合せが増えているのでしょうか。

ダムやため池などは、長年堆積した土砂が増えていくので浚渫などの処理が必要になります。浚渫する場合、脱水機などを現地プラントを設置して処理する方法もあると思いますが、浚渫土量が少量の場合は、コストが全く合わないようです。少量の場合は、セルドロンで改質し場内で再利用できる方法もご検討いただけたらと思います。乾燥ばっ気する場所がない、処分する費用がない、すぐにダンプトラックで運搬したいなど。

ぜひご検討ください。

## ■RRCSによる粒状化全国試験について

RRCSの生コンプラント40ヶ所以上で、生コンの粒状化試験を実施しているなかで、セルドロンも多くのプラントで活用いただいております。生コンを粒状化させて、粒状化した骨材の品質を確認したり、試験練りしたり、非常に楽しみな試験が始まっております。  
なかなか良い結果もでているようで、そのうちRRCSなどで発表があると思います。

現場で活用しやすくなっていくと思いますのでご期待ください。

RRCSに関するお問い合わせは営業 土井まで 03-4405-2642

セルドロンに関する疑問質問は営業 土井まで  03-4405-2642